

食品のリスクを考えるフォーラム（群馬県）－食品と放射性物質－  
参加者アンケート集計結果

参加者数	:	102
アンケート回収数	:	91

あなたご自身のことについてお聞かせください。

①性別

回答内容	件数	割合
男性	49	53.8%
女性	42	46.2%
無回答	0	0.0%
計	91	100.0%

②年齢

回答内容	件数	割合
20歳未満	0	0.0%
20歳代	7	7.7%
30歳代	17	18.7%
40歳代	23	25.3%
50歳代	17	18.7%
60歳代	14	15.4%
70歳代以上	13	14.3%
無回答	0	0.0%
計	91	100.0%

③職業（立場）

回答内容	件数	割合
①消費者団体	3	3.3%
②主婦・学生・無職	23	25.3%
③生産者	3	3.3%
④食品関連事業者・団体	22	24.2%
⑤マスコミ	1	1.1%
⑥行政（自治体職員，独法職員）	18	19.8%
⑦食品関連研究・教育機関	5	5.5%
⑧その他	12	13.2%
無回答	4	4.4%
計	91	100.0%

その他（）

自営
病院職員
企業役員
流通小売業
会社役員兼農業
調査
会社員

④意見交換会情報入手手段

回答内容	件数	割合
自治体からのご案内資料	66	72.5%
関係者からのご案内資料	8	8.8%
知人からの紹介	4	4.4%
その他	13	14.3%
無回答	0	0.0%
計	91	100.0%

その他（）

東京新聞
FSC HP
FSC HP
上毛新聞
FSC HP
東京新聞
朝日新聞
FM GUNMA
東京新聞
上毛新聞
上毛新聞
東京新聞

⑤「100%安全な食品はないこと」について、どう思われますか？

回答内容	件数	割合
強くそう思う	39	42.9%
ややそう思う	41	45.1%
あまりそう思わない	2	2.2%
全くそう思わない	3	3.3%
わからない	4	4.4%
無回答	2	2.2%
計	91	100.0%

問2. 本日のフォーラムについて

①フォーラムに参加した目的

回答内容	件数	割合
①食品における放射性物質について理解を深めたかったから	62	67.4%
②食品における放射性物質について自分の意見や考えを話したかったから	3	3.3%
③他の参加者の意見や考えを聞いたかったから	6	6.5%
④これまでにない取組で面白そうだったから	1	1.1%
⑤国、自治体の行うリスクコミュニケーションについて知りたかったから	10	10.9%
⑥その他	0	0.0%
無回答	10	10.9%
計	92	100.0%

⑦その他（）

--

②どの程度満足できるものでしたか？

回答内容	件数	割合
①十分満足	7	7.7%
②ほぼ満足	50	54.9%
③あまり満足できなかった	18	19.8%
④まったく満足できなかった	4	4.4%
⑤どちらでもない	3	3.3%
無回答	9	9.9%
	計	91
		100.0%

③ ③, ④, ⑤と答えた方に伺います。

満足できなかった点（具体的に）

数字のまよかしが大いに感じられた。リスクの積み重ねがどうしても言えないのか。
生協のおばさんの不安な話を聞きに来たのではありません。
これまでにネット等で知った情報とほぼ同等の内容だったため、特にどうという感想もありません。
話は理解できましたが、自己責任で選択をしていかなければならない暮らしの不安が高いので、安心につながらないので、満足につながらないのだと思います。
今後の検査情報次第。
よくあることであるけども、私が本来伺いたかったのはリスク評価と判断の部分であり、あまり消費者サイドに立った話は興味というか、求めているなかったため。
時間が短い。
もっと意見交換をゆっくりやりたかったし、聞きたかった。
何となくです。具体的にどうすればよいかとか、そんな意見を聞きたかったです。個人的な感情での意見はまったく参考にならない。
基準値を知ることができたが、消費者として具体的に日々の生活にどう投影されるのかが理解できなかった。
昨年3月11日以降、国の原発に対しての対応、国民に本当のことを知らせない。今日の会もまさにそのまま、私たち国民に本当のことをうやむやにしか説明しない会でした。私たちの安全と健康を守る政治をお願いします。
①食の安全情報通信の周知の仕方は、あまりに少ない通信員など改善の余地あり。②県が「これまでに経験したことのない…」といいながら、取組が甘い。
具体的な群馬県の活動計画が知りたかった。（実績ではなく、具体的な除染計画、検査計画が知りたい。）
今までマスコミ等で報じられてきた内容と何ら変わらず、新しく安心につながるものではなかったが、現在の生活の仕方では問題ないことはわかった。
もっと具体的に話してほしい。
現状の1mSv内は安全区？ですよとの内容と受けてますが、毎日食品の材料をセシウムを調べたり計算したりして食品を毎日できるか？無理でしょう。安心した検査データを、もっと国、県にて、食べられないものは出荷停止等の一覧表を公表すべきでは？毎日？週一？くらいは。
”中立”というが果たしてそうか？そうは思えない。”風評”ではなく”実害”という認識をもたないと前に進めないと思う。ICRP等の決めている1mSv/y以下は科学的に決められたものではないということも久保さんもご存じと思いますが、それを持ち出して安全ですというのは、まよかしではないでしょうか。
購入する立場の考え方が多すぎたと思う。生産者の立場も考えないと放射能は移動することも頭に入れると生産そのものを拒むことになる。受ける人間のデータがあればもっといい。放射能の影響を受けやすい年齢別一覧など。
公平中立の立場からと言っていましたが、内容は、枝野さんが一番最初に言っていた「直ちに影響はありません」というものと同じ。あまり期待はしていませんでしたが、政府側の発表をそのまま言っているだけ。やっぱりか！という感じでした。これほどの大事故で、これだけ影響があり、これほど国民が心配しているのに、大丈夫、安全、安心、これくらいなら許容内だ、元々あったものだから受け入れなさい…というもの、こんなの聞きたくない！風評被害というなら、政府、地方行政の人々、原発推進派の人たちが食べればいい。職員食堂の食材全て福島産にしていますか？自分たちが食べてみて、ホラ見てください、食べたけど大丈夫でしょう？とモルモットになってください。30年後に大丈夫なら風評被害だったんだと納得して食べます。風評被害でなく実害です。原発反対する人たちの意見も聞きたい。政府は他の意見を押しやえ込み、被害を少なく見せて、あったこともなかったことにしようという姿勢がありますが、今日の久保さんの話を聞いて、ますます国に対する反発が増しました。不信感がいっぱいです。チェルノブイリハートという映画を観てください。そして県民に無料で観せてください。

### 問3. 本日のワークショップについてどう思われたか？

回答内容	件数	割合
①評価する	26	28.6%
②まあまあ評価する	36	39.6%
③あまり評価しない	10	11.0%
④まったく評価しない	2	2.2%
無回答	17	18.7%
	計	91
		100.0%

#### 理由

理由付け、言い訳、押しつけが感じられた。質問の時間がないのはどうしてか。
それぞれの立場の方々が自分の立場で日常感じていることを単刀直入に話されて、とても有意義で勉強になりました。
いろいろな立場の意見を聞いたのはよかった。
パネラーメインの意見交換だと思っていなかった。意見交換会ではなく、討論会やディスカッションという形式であれば評価できたと思う。意見交換会であれば、聴講者からの意見をとる時間が少ないと感じた。
一般消費者の考えていることがわかった。行政の取組も理解できた。
アドバイザーの挨拶が長すぎる。もっと簡単に。
県、消費者団体、NPOなど様々な立場の方からの意見を聞くことができるので。
冷静に欠く人の意見に対して冷静に対応するのは大変だと思った。
双方向といいながら質問3問分しか時間がない。
よい勉強になります。
食品の安全を守るために国が何をしようとしているのかを聞きに来ましたが、その話が少なかった。
時間の関係から今回のこの内容は合格レベルと思います。ありがとうございました。
納得できなかったことも大勢の人の話を見聞きし乍ら不安を少なくする。
本県の食品安全委員会の活動は他の自治体に比べ先進的で誠に頼もしい。今後とも一層の努力を期待。
質問→意見というスタイルが崩れ気味な気がしました。質問→ずれた意見の主張だと何も理解できない。ひとつの質問を手短かに全員が答えてアドバイザー同士でディスカッションする方が脱線する人もいないし、いいと感じました。
司会者が食品安全局の職員で司会経験が少ないのではないかと。発言内容、発言時間についてある程度コントロールできる人間でないと。好きに話をさせるだけでは話がずれるだけだと思う。自己紹介が長い。意見交換をする人の冷静さが足りない。
様々な立場の方の話を聞いたため。
このような交換会は有効だと思いますが、限られた人だけの学習なのでもったいない。インターネット検索できない人がかなりいるということをいつも認識しておいてほしいです。
データだけでなく、実際、口に入ったりするものなので、直接関わっている人、様々な立場の人の意見はとても大切だと思いました。
アドバイザーがそれぞれわかりやすく自分の考えを述べていた。
質問が多く、回答し切れていない。後で文章でも結構ですので、回答できるような配慮がほしかった。
県民の情報が活かされるかも。
少人数で科学的、化学的、数学的な質問会が私の理想であるから、しかしある程度こうなることは予想はしていました。
双方向のコミュニケーションを行ったので。
参加者からの意見等が聞いてよかった。
説明内容等、具体的なお話を交えてわかりやすく理解することができました。
情報は、その多くが一方向的に伝えられたもの。こちらから発信、質問できるのはよかった。
不安や個人の思っていることや知識をおっしゃっているだけで、具体的ではなかったように感じた。
各所属の方の意見や情報の公開方法など、知らなかったことが聞いてよかったです。
自分が疑問に思わなかったことも気づかされたこともありました。自分の地域の人たちにも聞かせてやりたいと思いました。自治会にも働きかけたいと思います。
双方向性を持った意見交換会なのでよかった。
パネルディスカッションで疑問が解決されない。
各方面の方々から意見を聞くことで、新しい考え方が発見できる。
いろいろな立場の方々からの意見を聞くことができよかったと思います。もっと意見を交換してもらえたら、よりよかったと思います。
情報提供をたくさんしていただきよかったが、意見交換時に出てきた質問についての答えがなかったのが残念。
いろいろな立場の人が意見交換したのでよかった。

いろいろな立場からの意見が聞かれ、興味深かった。
いろいろな立場の方の意見が聞けてよかった。 放射性物質について考えを深めることができた。
もっとたくさんの意見が聞きたかったです。
できれば消費者の立場として、知りたい内容を話していただきたいかった。
理事の林かの子さん、NPO法人の矢島美智代さん、2人の意見は私の考えととても似ています。これからは女性ももっと活躍していただきたいと思います。久保順一さんの講演は今の国の政治家と同じで何もかもうやむやで、もっと本当のことを言う人を望みます。
①会場の出席者の意見ももっと時間を割いてきてほしい。②もっとこまめにフォーラムを開催してほしい。
もっと参加者からの質問に時間を取った方がよかった。
もっと質問の時間がほしかった。
今日のようなフォーラムに参加する人たちはある程度関心があり、いろいろな方法で情報を集めています。これからどうするのか、どうなるのかを知りたいです。私たちに何ができるのかを提示してください。
もっとたくさんこういう機会を作ってほしい。
各部門よりの考えていること、意見等が出て聞いて「0」の考え方から「0.5」くらいは理解できました。
講師の数をもっと減らし、参加者の数も絞って、小規模なものを数多く開いた方が、より効果的では。参加者が「コミュニケーションした」と思えるようなものを！
食品安全局長は県民の方を向いているように思えたので。
双方向という考え方はとてもいいと思うが、それだけでは足りないと思う。むしろ三角方法で学び合うことではないか。もっとアイデアが増えないと春を迎えられない。
久保さん→方向だと思った。国とはどこまで行っても平行線。林さん、矢島さんは消費者側に立った意見でしたが。

#### 問4. 意見交換会の進め方について、意見交換会の全体の印象を通じて感じた印象は？

F

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	23	25.3%
②そう思う	56	61.5%
③あまりそう思わない	1	1.1%
④そう思わない	2	2.2%
無回答	9	9.9%
計	91	100.0%

##### ii. 情報提供（食品安全委員会）の説明はわかりやすかった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	17	18.7%
②そう思う	55	60.4%
③あまりそう思わない	7	7.7%
④そう思わない	2	2.2%
無回答	10	11.0%
計	91	100.0%

##### iii. 情報提供（群馬県）の説明はわかりやすかった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	23	25.3%
②そう思う	49	53.8%
③あまりそう思わない	10	11.0%
④そう思わない	3	3.3%
無回答	6	6.6%
計	91	100.0%

iv. 意見交換の進め方は良かった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	15	16.5%
②そう思う	50	54.9%
③あまりそう思わない	12	13.2%
④そう思わない	5	5.5%
無回答	9	9.9%
計	91	100.0%

v. 意見交換時に回答者は質問にきちんと回答していた

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	15	16.5%
②そう思う	49	53.8%
③あまりそう思わない	8	8.8%
④そう思わない	2	2.2%
無回答	17	18.7%
計	91	100.0%

vi. 食品における放射性物質について参加する前に比べ理解が深まった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	17	18.7%
②そう思う	48	52.7%
③あまりそう思わない	12	13.2%
④そう思わない	7	7.7%
無回答	7	7.7%
計	91	100.0%

vii. 自分の食生活に今回の意見交換会で知った内容はいかせる

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	13	14.3%
②そう思う	56	61.5%
③あまりそう思わない	13	14.3%
④そう思わない	4	4.4%
無回答	5	5.5%
計	91	100.0%

問5. 本日の意見交換会について、ご意見やご感想をお書き下さい

安全基準が不正確の発表。粉ミルクのことで前に書きましたがどうして基準値が変わるのか。始めから高いリスクですべきだったと思う。この原因がどこから来たのか、それを言うべきだと思う。このことが2度とおこしてはならないことを取り組んでください。
いろいろな数値の発表があり、基準値以下等のことで一応安心できるものの、まだまだ不安がある。
不安を感じる人は科学的根拠を示されても払拭できないことがよくわかる会でした。質問に的はずれた回答も多かった。
放射性物質について科学的に理解したいと思っていましたので、とてもよかったです。
スーパーの品質管理部門の人間です。県含めた自治体のモニタリング調査はもっと消費者にアピールすべきだと思います。最近の消費者はよく勉強していると思います。スーパーの自主検査には予算的にも限界があります。
この会場はとなりが近すぎるし、入りづらいし、あまり使わない方がいい。通路を狭めて中間に通路を作るなど改造した方がいい。入口左の壁は撤去した方がいい。
放射性物質の除染の話が出ましたが、理想はよくわかります。しかしながら、あの広い農地（例えば昭和村のような）の除染が可能なのでしょうか？
ていねいなレジメありがとうございます。いつも思うことだが、専門家、研究者の講演ははっきりいって聴き難い。早口、声の高低、声量の差。彼らももうちょっと工夫してほしい。ナレーター、アナウンサーのまねをしるとは言わないが。
県が示している数値が低すぎると思われる。県内地域別に検査結果を図解してください。
よくわからない、自分では何なか理解できないと言いつつも、本当のことを伝えたいとはこれいかに。
マイクの音が大きすぎる。質問に答えたのか、自分の意見を主張したのか、わからない発言があって、内容を十分に理解しにくい。質問に対する答えが長すぎて、ちょっとわかりにくい。

何を言っても説明しても信じていない人には無駄だと思います。とにかく検体を数多く検査し公表し、それぞれの人に考えてもらう。それだけだと思います。（不安な人に検査機を貸し出し、検査してもらうのも有効。）それが自治体の役割です。その結果が風評を招くものでも、風評は100日間くらいしか続かないと思います。農産物は自然の恵みです。自然が人間に厳しくあたるときもあれば、やさしく包んでくれるときもある。それと同じです。消費者団体の人は、やってほしいと言うだけで、私はこうやりたい、自分でやります、がない。

放射性物質等の件、ウォッチャー研修会、今回の語部の会に参加させていただき、自分なりに内容を理解しようとしていますが、なかなか無能な自分（主婦）にわかりにくく、今回の話と資料をもとに、少しずつでも理解できるように努力したい。

将来的に子育てをしていく人にどのようなことを気をつけていけばよいのか、おしえてあげられればよいなあと思いました。（日本全体安心なところはなくなると思う。）しかし、これから原発問題を考えていくこと！”脱原発”講師の先生はすばらしかった。わかりやすかったです。ありがとうございました。

今後も消費者の立場に立って食の安全を推進してほしい。

今回の内容ですと、食品に限っての回答では物足りないと思いました。部署にまたがったテーマの時は横の連携をとって、専門家の参加も検討願います。

よりレベルの高い意見交換会を開催していただけるとうれしいです。

時間のこともありますが、より多くの出席者の意見を聞くようにした方がよいと思った。意見交換会の司会（二瓶さん）がじょうずだった。

食品安全語部の会等で理解を深めていく必要が大切と思いました。

新聞を始めとするマスコミも情報を報道することも重要であることは理解できるが、必要以上に不安を煽っているのではないと思う。一般消費者自体、放射能、放射性物質に対する意識に温度がかなりあるので、一部の消費者が求める情報を全ての消費者が求めていることではないということもわかっていただきたい。

意見交換の司会者の質問の主旨があまりよくわからなかった。

検査も大事ですが、減らす努力もどうぞよろしく願いいたします。農家への指導とか勉強会とか。って課がちがいますね。

とても参考になりました！

今後も最新情報を入れて定期的にしてほしい。

わかりやすいお話しでよかったです。放射性物質はなじみのない事柄ですので、理解が難しいです。特に数字・数値については、様々な意見があるので、どこに軸足をおけばよいのか、判断に迷います。

安心できなかった。パネリストも安心できていないように感じた。食品がゼロリスクでないなら、100以下もゼロリスクでないことをもっと強調することも必要でないか！

各事項における基準値が設定、解除されると思うため、今後このような集まりを設定することは重要と思います。

インターネットなどでの情報の方が信用しやすいという意見はこわいなと思いました。しかし実際にそうなってしまっていると思います。情報が氾濫し、間違っている情報も多いと思います。国や県でもっと正しくて信用できる情報を、また、情報提供の方法ももっと工夫した方がよいのではないかと思います。

放射性物質に限らず、食品のリスクについての情報提供をこれからも一般にわかりやすくして行ってほしい。

6月の語部の会にも参加させていただきました。新しい暫定基準値が策定されるまでの経緯のお話を伺うことができ、とても有意義でした。ありがとうございました。

「知る」ことのほかに化学的根拠は安心できますが、放射能問題に対してはもっと可能性を視野に入れてほしいと思いました。（自分の免疫力を高めることなど）化学的根拠は待ってられないとも感じています。

群馬は福島に放射性物質が降り注いだわけです。これから何年かかたら安全に住める群馬になるか、県の政治をする方、役所の仕事をする方、全力で事に当たってもらいたい。

①生協連会長の「私たちは直接被害ないが、放射能が心配・・・」との発言はあまりに消費者、生活者、県民、組合員のことに関心しているとは思えない。私たちはともに被害者なのです。（私自身も一組合員です。）②学校に通う子どもたちの給食については、特に配慮願いたい。

農産物の汚染状況について、検査結果を出すだけでなく、具体的な情報を出してほしい。例えば、柿、キウイフルーツなどは数値が高く出る、ハウレンソウはもう大丈夫だ、など具体的に品名まで出さないとダメ。自家消費や隣家からのお裾分けなどが非常に気になる。

今、全国で行っている、国？が行っているフォーラムも群馬でやっていただきたい。

風評被害は押さえたいのが共通した思いだと思いますが、福島の米のように安全宣言がされてから「やっぱりこの地域の米は基準値超えでした」等の事例が多々あると、自分なりの判断で購入を控えたりして安心するしかありません。正確な情報を発信してください。

ぐんま食の安全情報の配布は、情報を広く伝えたいのなら全戸に配るのか、市町村の広報に載せるのか、手立てを広げられるよう考えた方がよいのでは。

もっと出席者の意見を聞いてほしかった。私はよく放射能に関しては知識「0」ですので、できれば、命がかかった大事なことで、もっとわかりやすく、群馬テレビ等の天気予報と同じように、いや、それ以上に食品の放射能に関して現状よりもっとわかりやすい”ダメ、out”の食品等を公表してほしいです。



放射性物質の不安の主戦場はインターネット。当事者はネットを活用している若年～中年世代。活動の拠点をネットにおくべき。現にこういったフォーラムに来ている人たちは、それ以外の中高齢世代で、あまり不安に思っていない。ツイッターを始めて、直接、不安な母親たちとやりとりしてほしい。一定期間、やりとりして、ある程度、類型化できたら、ホームページにFAQとしてまとめるとか。それと、「不安説」の根拠となっている様々な言説に直接言及して、解説・反論・議論してほしい。もっと活発に多くの人の目にとまる場で、コミュニケーションを行ってほしい。サンドバッグになる覚悟でやってほしい。その後「安心」がやってくる。

暫定規制値にはウランやプルトニウム、ストロンチウム等にも言及されているのに、調べないのはなぜか？放射性降下物の検査機関で水道水を調べることはできないのか？ヨウ素、セシウム以外も調べられるはず。

人は体に取り入れる分量は、吸入83%、食物・水15%、皮膚2%とすれば15%の話である。食物、水は排出する。ならば、効率のよい排出手段を考えるといいと思う。本物のアイデアはもっと日常に根ざしたところから出てくるのでは…。ベクレルの高い作物→老人ホームなどの高齢者用、ベクレルの低い作物→子供用（格安で）、できあがったものを段階別に。放射能があっても人は生きられる。ミツバチが死んだら人は生きていけない。できるだけ生かす。

①双方向の情報公開が必要と小山さんが言っていますが、県民と公人の双方向でなく、原発推進・原発反対の双方向、放射能が心配・安心の双方向の話し合いがあるなら納得できます。②食品、内部被ばくだけでなく、人間は外部からも影響を受けるわけだから、両方からの影響に対応する数値に直してもらいたい。③測定器を各市町村に配布して市民がいつでもすぐに測定可能なようにしてもらいたい。高崎市に申し込んだら断られました。残念です。税金はこういうところに使ってもらいたい。最悪な事故をおこした犯罪者である東電にばかり大事な税金をつぎ込んでいないで！国民の命をどう思っているのですか？④県民生協に入っていたが、今回でやめ、他の生協に（2箇所）移行しました。今日の話聞いて（中嶋さん）やめて正解でした。消費者側に立っていない、こんな考え方だったのかとガッカリです。